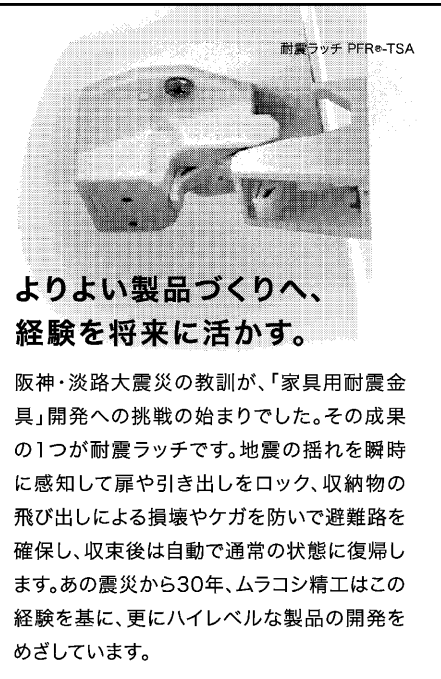


過去に学び、 未来に備える。

2025年1月17日 阪神・淡路大震災から30年

ムラコシ精工では1995年の阪神・淡路大震災を契機に「耐震ラッチ」の開発に着手しました。創業から105年を超える歴史と伝統の中、培って来たノウハウを活かして、機能がなくメーカーとしてできることを模索し、「災害による被害を最小限に抑え、人々の安全を守る」ための製品づくりに真摯に取り組んでいます。

株式会社ムラコシ精工 住インテリア事業部 www.murakoshiseikou.com <https://murakoshishop.com/> 0120-015-062



よりよい製品づくりへ、
経験を将来に活かす。
阪神・淡路大震災の教訓が、「家具用耐震金具」開発への挑戦の始まりでした。その成果の1つが耐震ラッチです。地震の揺れを瞬時に感知して扉や引き出しをロック、収納物の飛び出しによる損壊やケガを防いで避難路を確保し、収束後は自動で通常の状態に復帰します。あの震災から30年、ムラコシ精工はこの経験を基に、更にハイレベルな製品の開発をめざしています。

カタログ(無料) 請求はフリーダイヤルFAX迄

耐震 サンアジャストボルト

大切な生命 大事な設備 安いコストでお守り下さい

脚もとすつきり!

NonBurn SPシリーズ (特許: No. 5128145号)

特長

- 非常に優れた耐油性を兼ねた耐震材
- 他の部材に比べて格段に高い衝撃吸収性
- 屈曲や引裂にも抜群の強さを発揮

製造元 サンファスナー部品株式会社 [サンファスナー URL:http://www.ajastsun.co.jp](http://www.ajastsun.co.jp) TEL:06-6745-9095 フリーダイヤルFAX:0120-08-9095

阪神・淡路大震災から30年

災害への備え 防災・減災を考える

耐震化の現状

阪神・淡路大震災では建物の倒壊が大きな人的被害をもたらした。これを教訓に耐震化が進んだが、2024年1月の能登半島地震では古い木造住宅の倒壊が相次いだ。国土交通省が発表した2024年4月時点における住宅の耐震化率(新耐震達成率)の府県、60%台が5県、全国平均は約87%。国は30年に「おおむね解消」の目標を掲げているが、木造住宅のみの耐震化率は追いついていないのが実情だ。都道府県別の耐震化率を見ると、埼玉県が88.9%の対し、輪島市は22年度末時点

南海トラフに備える

気象庁は2024年1月13日の日向灘を震源とする地震において「南海トラフ地震臨時情報(大規模地震型)」を発表し、評価検討会を開いた。発生可能性が平常時より相対的に高まる

早期復旧のためにBCP策定を

地震のみならず、豪雨の予測確保や取り組みが76.4%。「策定済みの割合」が9.2%だった。一方、中堅企業で取り組みを事業継続の経営上のリスクは多

人命・暮らし・経済を守る 取り組みが求められる

1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災。その後も日本列島は新潟県中越地震、東日本大震災、熊本地震、そして2024年元旦日に発生した能登半島地震など、震度7を超える地震に襲われている。昨年8月には宮崎県日南市でM7.1の地震を観測し、気象庁が「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」を初めて発表した。注意情報は1週間後に解除されたが、政府の地震調査委員会は25年1月15日、南海トラフ地震が起る確率を今後30年以内に「70-80%」から「80%程度」に引きあげた。また首都直下地震も30年以内に発生する確率が70%とされている。人命、暮らし、経済を守るため、防災・減災の取り組みを進めることが求められている。

未来を見据えて

1.17

阪神・淡路大震災から30年

暮らしと街に、安心と安全を。

人、街、企業の確かな未来の備えとして。三和シャッターは、各種災害に対応した防災向け商品やサービスをラインアップ。万一の事態へ、事前の準備が大切です。

震災の二次災害から人命を守る

火災の被害から生活を守る

台風や暴風から建物を守る

洪水や浸水から資産を守る

地震に備える

火災に備える

風害に備える

水害に備える

三和グループ 三和シャッター工業株式会社 03-3346-3011

震災に対するわが社の使命

阪神・淡路大震災から30年。その痛みは社会が防災・減災を考えるきっかけとなった。企業においても災害に備える動きが加速した。各社の取り組みを紹介する。(順不同)

いのちを守る安心トイレプロジェクト

被災地のトイレ問題は命に関わる重要な課題。当社は阪神・淡路大震災を機にハウス型トイレ「クイックハウス」を開発し、30年歩んできました。また、災害時のトイレ問題を提唱する「いのちを守る災害時の安心なトイレプロジェクト」を展開、被災地での困難なトイレ環境を踏まえた啓発活動を全国で行っています。

スターライト工業株式会社
大阪府大阪市旭区大宮4-23-7
<https://starlite.co.jp/>

神鋼環境ソリューションでは昨年12月、神戸本社の隣にある神戸市立科学技術高等学校と合同で避難訓練を実施しました。合同での訓練は初の試みであり、生徒さんたちは、授業中に地震・火災が発生したことを想定した訓練でした。今後も地域との連携のもと、有事の際に安全で迅速な行動がとれるような体制づくりを目指します。

株式会社神鋼環境ソリューション
兵庫県神戸市中央区臨浜町1-4-78
<https://www.kobelco-eco.co.jp/>

企画・制作/日刊工業新聞社 西日本支社 業務局

備えて安心! 非常用浄水器の総合メーカー

非常用浄水器 飲むソウ シリーズ

身の回りにある水(河川・井戸など)から飲料水を造る!

~自治体の皆様へ~
内閣府防災の「新しい地方経済生活環境創生交付金」(地域防災緊急整備型)を活用して、当社の非常用浄水器や災害支援車などを半額で備えることができます。

コックン 飲むソウ スリム

あらゆる空間にフィット
もっと身近に

手動 マンション・オフィス など MF中空糸膜

コックン 飲むソウ ミニ

期限切れ備蓄水を浄水
入替コスト削減に

手動 個人、企業、自治会 など MF中空糸膜

コックン 飲むソウ RO

ほとんどの水を飲料水に
手動と電動両方使える

電動 中・小規模 (~200人程度) RO逆浸透膜

コックン 飲むソウ ビック

大量浄水で2800人分の
飲料水を確保できる

電動 大規模 (~2800人以上) RO逆浸透膜 MF中空糸膜

＜飲料水として浄水できる水＞
期限切れPET水・雨水・風呂水・貯水タンク水・エアコンドレン水など

河川・池・井戸水・プール水・防火水槽など(海水以外ほとんどの水)

株式会社 ミヤサカ工業
〒391-0012 長野県茅野市金沢5568-2
TEL.0266-79-7115 FAX.0266-79-5597

地震・雷・豪雨に備えた 災害対策は万全ですか?

地震

雷

豪雨

地震対策
SD-5 typeⅢ
新機構採用で、短周期・長周期地震動による変位制御を実現!

雷害対策
サンダーブロッカー-Pro
パソコンやネットワーク機器、テレビなどを雷から保護する高性能なSPD

セキュリティ
AQUABLOCK
吸水性土のう「アクアブロック」3分の吸水で使用でき、軽量かつ頑丈、強固で破れにくい

セキュリティ
Security Center
Genetec社 VMS 入退室管理や生体認証、各種センサーと連携した統合監視を実現

総合防災特集サイトオープン! www.sdn.co.jp/special/bosai/

株式会社 昭電 本社 〒130-8543 東京都墨田区太平4丁目3番8号 TEL.03(5819)8373

ライフライン維持、国民経済・生活支える

防災産業展2025

災害対応トイレは2024年も来場者の関心を集めた。

29日開幕 東京ビッグサイト

日刊工業新聞社と日本防災産業会議は、1月20日から3日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開催される「防災産業展2025」を、22日に先がけてオンライン展覧会を開催する(2月7日まで)。

「防災・減災によるレジリエンス社会の実現」をテーマに、「自然災害対策」「帰宅困難者対策」「情報システム」「ロボット/ドローン/VR活用サービス」「BCP対策」のカテゴリーで、耐震・制振・免振技術、耐火製品、仮設テント、災害監視システム、測量・蓄電システムなどを紹介する。

また企画展として「災害対応・快適トイレ展」を開催する。2024年1月の熊半島地震でも大きな課題となった被災地のトイレ問題にスポットを当て、災害時だけでなく平時にも快適な機能を提供するさまざまなトイレを展示する。

気象災害が頻発 大規模地震も切迫

進む国土強靱化

内閣官房の国土強靱化推進室が24年5月に公表した進捗(しんち)の進捗遅れや行政訴訟の対応など、このうち4指標に新たに253対の追加対策を追求する。4件は目標を再設定し、残る3件は可能(せいじやく)性が高い。残り3件は可能(せいじやく)性が高い。残り3件は可能(せいじやく)性が高い。

国土強靱化推進室は、24年の年次計画はこれらに基づき、評価シートを作成。国土交通省や農林水産省、総務省など実施主体の庁が自己評価している。さらに5年後以降の目標の明確化や施策の成果を分かりやすくするため、現在の24指標に新たに253対の追加対策を追求する。4件は目標を再設定し、残る3件は可能(せいじやく)性が高い。残り3件は可能(せいじやく)性が高い。

ついに実現 次世代全自動めっき装置 完成!

創業よりめっき装置一筋、KIDAの歴史と技術の結晶です。

20種類以上のめっきを1ラインで処理可能

ステンめっき系

ZECコート系

ノンクロム系

HiNi 合金めっき系

亜鉛めっき系

YCZ系

ステンめっき系、ハイニッケル合金めっき系、亜鉛めっき系、ノンクロム系、ZECコート系、YCZ系の各種めっきをロット切り替え有で処理可能です。

KIDAはトータルで考えます。

連続式パーキング装置

ICP薬品自動分析装置

蛍光X線膜厚測定装置(左)

デジタルマイクロスコープ(右)

めっき薬品自動分析装置

本社第3工場にモデルラインを設置! 令和2年10月より加工業務を開始しています。

株式会社 KIDA 木田精工株式会社

〒579-8025 大阪府東大阪市宝町13-26 TEL:072-982-4636 FAX:072-982-4637
<http://www.kidaseiko.co.jp/> MAIL info@kidaseiko.co.jp